日産自動車、EVコンセプトカー第二弾「ニッサン ハイパーアドベンチャー」を発表

日産自動車株式会社　2023年10月10日

日産自動車株式会社（本社：神奈川県横浜市西区、社長：内田 誠）は10日、JAPAN MOBILITY SHOW 2023（ジャパンモビリティショー2023。一般公開日：2023年10月28日（土）～11月5日（日）、場所：東京ビッグサイト）に出展するEVコンセプトカーの第二弾となる「ニッサン ハイパーアドベンチャー」（デジタルモデル）を発表しました。

「ニッサン ハイパーアドベンチャー」は、自然を愛し、環境に配慮したライフスタイルを送りながら、アウトドアを思う存分楽しみたいお客さまに向けた本格SUVです。週末に近くの山へ遊びに行くときも、人里離れた場所へ数ヶ月にわたって旅するときでも、アウトドアにおける多様なニーズにお応えします。

大容量バッテリーを搭載する同車は、長期間の旅や遠方へのドライブを可能とし、目的地に到着した後にはアウトドアアクティビティを楽しむための電源となり、照明や電気を必要とするアウトドア用品へも給電できます。また、V2X（Vehicle-to-Everything）機能を通じてEVエコシステムの一部となり、クルマのバッテリーに蓄えた電力を自宅へ供給（Vehicle-to-Home）したり、車両から電力を電力網に供給（Vehicle-to-Grid）することで地域の電力インフラをサポートするなど、自宅でも旅先でも電力を適切にマネジメントすることができます。また、進化した電動駆動4輪制御技術「e-4ORCE」により、雪道や山道などでも快適な乗り心地を実現し、安心してワクワクする走りを楽しむことができます。

エクステリアは、ダイナミックな面構成のボディパネルがアクティブさを表現し、ボディサイドに採用した特徴的な斜めのキャラクターラインが広々としたキャビンを強調しています。また、フロントバンパーからフロントガラスに空気が抜けるエアダクトを持ち、スムーズなルーフラインからサイドウィンドウ、Cピラーまでを一体化させ、グラスエリアと車体後部を段差のないフラッシュサーフェスデザインとすることで、高い空力性能を実現しています。ホイールとフロント・リヤバンパーは、スノーギアであるアイゼンから着想を得た形状とすることで、雪道や悪路を掻き進むような力強さを表現しました。

インテリアでは、インストルメントパネル前方にピラー間をつなぐワイドなディスプレイを搭載しました。フロントガラスにカメラでとらえた車外の状況を映し出すことにより、運転時にはボディが透けたような大きく開けた視界が目の前に広がり、車内外の空間がシームレスにつながる感覚を味わっていただけます。

広々とした荷室空間には、テントや大量のアウトドアギアを積み込むことができます。後部座席はボタン操作で簡単に180度回転し、登山やウインタースポーツの準備ができる最適な空間へと姿を変えます。バックドア開口部にはデザインと機能性を両立したラダー状のステップを備えており、車内から車外へそのまま移動できるだけでなく、停車時やキャンプにおいては、後ろを向いたシートに座ってくつろぎながら景色を楽しむなど、多くのシーンで存分にアウトドアを満喫することができます。

なお、本ショーに向けた特別企画として、10月25日までの間、YouTubeの日産アカウントにて、「夜のドライブで聴きたいNight Drive Chill Mix with Nissan」をストリーミング配信中です。この映像には今回発表したコンセプトカーが出現します。クリエイターによって生み出された音楽とコンセプトカーのコラボレーションをお楽しみください。

以上